

エルデカルシトールカプセル「日医工」を 処方される医師および調剤される薬剤師の先生方へ

《高カルシウム血症、妊婦・授乳婦に関するご注意のお願い》

▶併用される際にご注意いただきたい薬剤

次の薬剤を併用される場合は高カルシウム血症があらわれるおそれがあるため、特にご注意ください。

- カルシウム製剤（乳酸カルシウム、炭酸カルシウム等）
- ビタミンDおよびその誘導体（アルファカルシドール、カルシトリオール等）
- PTH製剤（テリパラチド）

また、**カルシウム**や**ビタミンD**を含む**サプリメントとの併用**に関してもご注意ください。サプリメントを服用される場合は、医師または薬剤師に相談されるよう患者さんにご指導ください。

▶定期的な血液検査

本剤投与中は、血清カルシウム値を**定期的（3～6ヵ月に1回程度）**に測定できるような来院を患者さんにご指導ください。

▶高カルシウム血症の症状について

本剤服用後、高カルシウム血症に関する症状（下記参照）が認められた場合には、血清カルシウム値を測定するためにすみやかな来院を患者さんにご指導ください。

- 倦怠感 ●いらいら感 ●嘔気 ●口渇感 ●食欲減退 ●意識レベルの低下 等

▶高カルシウム血症のおそれのある患者

次の方は高カルシウム血症を発現しやすいため、投与初期に頻回に血清カルシウム値を測定するために来院を患者さんにご指導ください。

- 腎機能障害のある患者 ●悪性腫瘍のある患者 ●原発性副甲状腺機能亢進症の患者 等

▶妊婦、授乳婦への処方について

エルデカルシトールの動物実験（ラット、ウサギ）において、胎児の骨格異常、出生児の腎臓の変化および外形異常、乳汁中への移行などが報告されています。

より安全にご使用いただくために、**女性患者さんには必ず妊娠、授乳のご確認、ご指導**をお願いいたします。

- 妊婦、妊娠している可能性のある女性、授乳中の女性は禁忌です。投与前に問診をお願いいたします。
- 妊娠する可能性のある女性は、本剤のリスクを説明し、服用中の避妊をご指導ください。
- 服用中に妊娠したと考えられた場合には、すみやかに相談するよう患者さんにご指導ください。

エルデカルシトールカプセル「日医工」を 処方される医師および調剤される薬剤師の先生方へ

《高カルシウム血症、妊婦・授乳婦に関するご注意のお願い》

▶併用される際にご注意いただきたい薬剤

次の薬剤を併用される場合は高カルシウム血症があらわれるおそれがあるため、特にご注意ください。

- カルシウム製剤（乳酸カルシウム、炭酸カルシウム等）
- ビタミンDおよびその誘導体（アルファカルシドール、カルシトリオール等）
- PTH製剤（テリパラチド）

また、**カルシウム**や**ビタミンD**を含む**サプリメントとの併用**に関してもご注意ください。サプリメントを服用される場合は、医師または薬剤師に相談されるよう患者さんにご指導ください。

▶定期的な血液検査

本剤投与中は、血清カルシウム値を**定期的（3～6ヵ月に1回程度）**に測定できるような来院を患者さんにご指導ください。

▶高カルシウム血症の症状について

本剤服用後、高カルシウム血症に関する症状（下記参照）が認められた場合には、血清カルシウム値を測定するためにすみやかな来院を患者さんにご指導ください。

- 倦怠感 ●いらいら感 ●嘔気 ●口渇感 ●食欲減退 ●意識レベルの低下 等

▶高カルシウム血症のおそれのある患者

次の方は高カルシウム血症を発現しやすいため、投与初期に頻回に血清カルシウム値を測定するために来院を患者さんにご指導ください。

- 腎機能障害のある患者 ●悪性腫瘍のある患者 ●原発性副甲状腺機能亢進症の患者 等

▶妊婦、授乳婦への処方について

エルデカルシトールの動物実験（ラット、ウサギ）において、胎児の骨格異常、出生児の腎臓の変化および外形異常、乳汁中への移行などが報告されています。

より安全にご使用いただくために、**女性患者さんには必ず妊娠、授乳のご確認、ご指導**をお願いいたします。

- 妊婦、妊娠している可能性のある女性、授乳中の女性は禁忌です。投与前に問診をお願いいたします。
- 妊娠する可能性のある女性は、本剤のリスクを説明し、服用中の避妊をご指導ください。
- 服用中に妊娠したと考えられた場合には、すみやかに相談するよう患者さんにご指導ください。